

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 3, 事業名, 実施計画の策定・支援策の展開, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐々木隆太, 施策コード, 2, 施策名, 商工会ならではの事業承継の推進

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

県内企業の経営者平均年齢は、今後10年で引退平均年齢の70歳を超えることがわかっており、加えて商工会地区の商工業者アンケートでは76%の企業が事業承継に何らかの問題を抱えているという待ったなしの状態にある。

2. 事業のねらい

商工会が事業者にとって最も身近な支援機関として、これまで行ってきた経営相談から把握している事業者の情報をもとに、「継ぎたい」「継がせたい」と思うような経営体質の強化を図るとともに、承継のきっかけづくりからその後のフォローまで一貫した事業承継支援に取り組む。

3. これまでの評価結果

Table with 7 columns: 過年度, H29, -, H30, H31, H32

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 5 (商工業者の事業承継状況データ整備), 6 (事業承継に関する支援先の絞り込み), 7 (事業承継セミナー等の開催)

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 5, 取組コード, 取組コード, 指標名, 商工業者の事業承継状況データ整備, 指標名, 指標名, 年度, H29, H30, H31, H32, H33, 年度, H29, H30, H31, H32, H33, 年度, H29, H30, H31, H32, H33. Includes rows for 目標, 実績, 達成率, 達成度

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

事業承継に対する事業者の意識は向上しつつあるものの、まだまだその準備の必要性や早期着手の重要性について周知活動が必要である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

事業承継データ整備について、商工会員への調査はほぼ終了しているが、対象を商工業者へ拡大したためその進捗がなかなか進んでいない。今後も継続した取組が必要である。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

国のプッシュ型事業を活用することで、専門家派遣やセミナー開催等で商工会をサポートすることができ、経費や労力等で商工会のコスト削減につながった。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

事業承継データ整備が遅れているためB評価となっているが、本県において事業承継の啓発活動は今後も継続すべき重点事業である。

3. 課題

未加入事業者への事業承継データ整備が進んでいない。

4. 今後の対応方針(改善点)

会員加入促進ガイドラインとも連携し、未加入事業者への実態調査の一環として事業承継に関するデータ収集を行い、新規会員加入につなげる。